

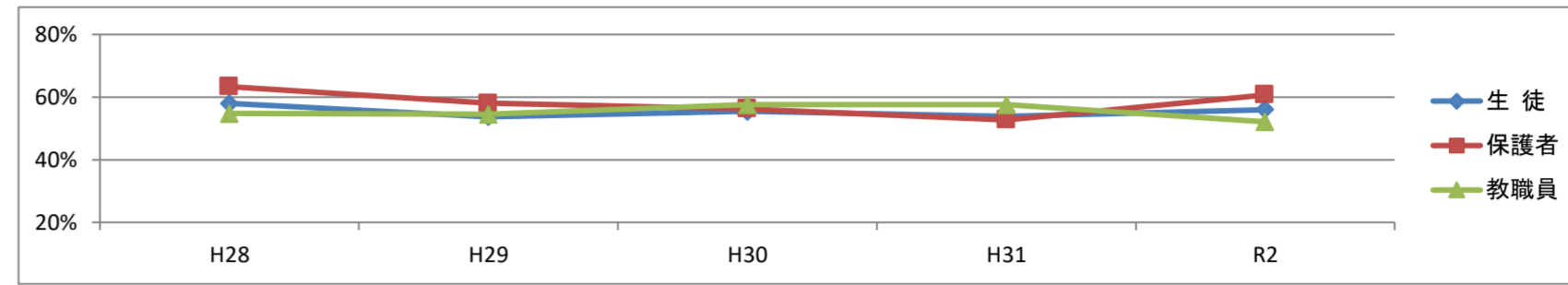
# 1. 令和2年度 学校教育自己診断 集計結果

対象	生徒					保護者					教職員				
	年度	H28	H29	H30	H31	R2	H28	H29	H30	H31	R2	H28	H29	H30	H31
回答数	536	421	425	402	447	182	126	99	284	208	42	44	69	49	57
総数	592	568	539	531	575	592	568	539	531	575	74	67	74	61	59
回答率(%)	90.5%	74.1%	78.8%	75.7%	77.7%	30.7%	22.2%	18.4%	53.5%	36.2%	56.8%	65.7%	93.2%	80.3%	96.6%

項目1

1 生徒 学校に行くのが楽しい  
 1 保護者 子どもは学校に行くのを楽しみにしている  
 1 教職員 生徒は学校生活に満足している

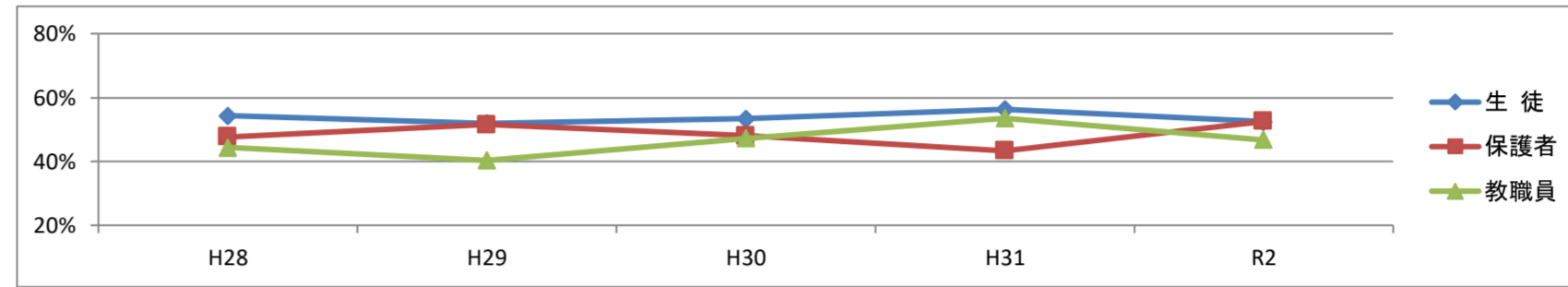
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	58.0%	53.7%	55.4%	53.8%	56.0%
保護者	63.3%	58.0%	56.2%	52.7%	60.7%
教職員	54.7%	54.5%	57.5%	57.6%	52.1%



項目2

2 生徒 学校の勉強はよくわかる  
 2 保護者 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている  
 2 教職員 生徒は授業内容を理解している

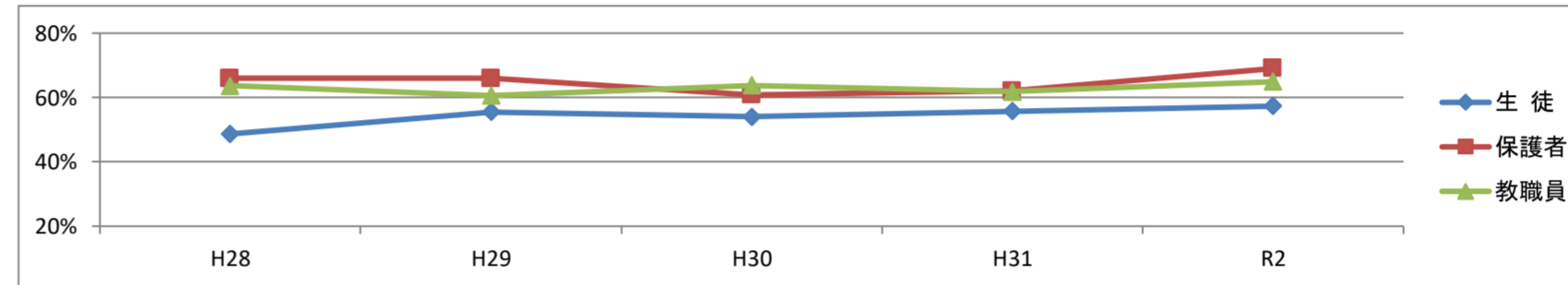
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	54.3%	51.9%	53.3%	56.3%	52.4%
保護者	47.7%	51.5%	48.0%	43.3%	52.5%
教職員	44.3%	40.3%	47.2%	53.5%	46.8%



項目3

16 生徒 家の人は学校のことをよく知っている  
 17 保護者 学校は、教育情報について、提供の努力をしている  
 14 教職員 教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている

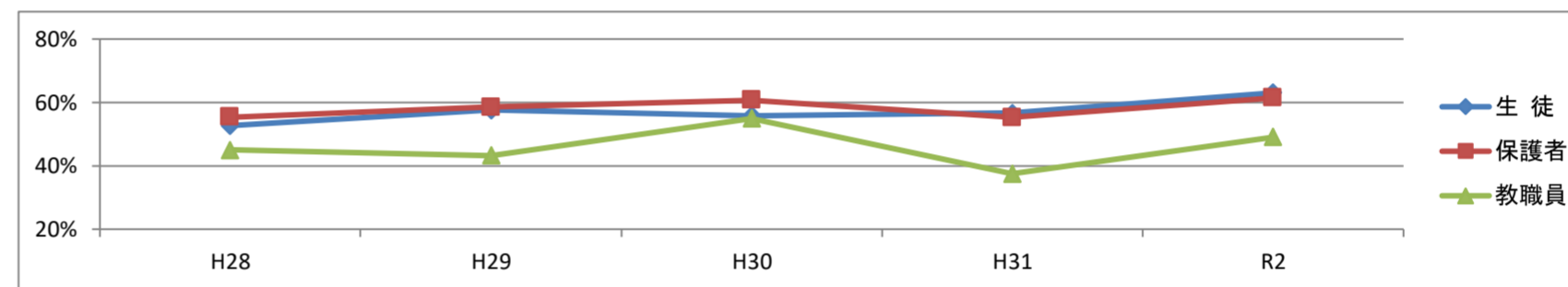
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	48.7%	55.5%	54.0%	55.7%	57.3%
保護者	66.0%	66.0%	60.8%	62.1%	69.0%
教職員	63.7%	60.6%	63.8%	61.8%	64.9%



項目4

17 生徒 学校で非常時にどんな行動をとればよいかを知っている  
 16 保護者 子どもは、学校で非常時にどんな行動をとればよいかを、理解している  
 15 教職員 学校で非常時にどんな行動をとればよいかを、生徒に周知している

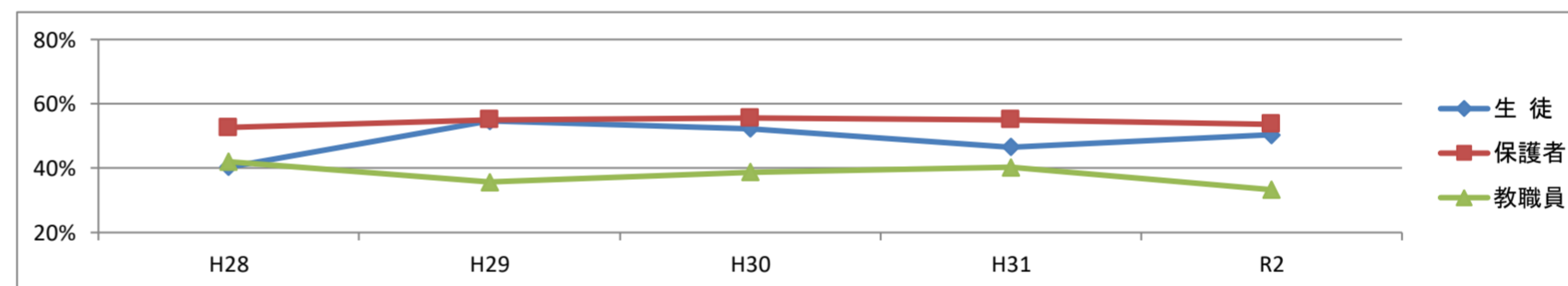
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	52.7%	57.6%	55.8%	56.6%	63.0%
保護者	55.3%	58.5%	60.7%	55.3%	61.4%
教職員	45.0%	43.2%	54.9%	37.5%	49.1%



項目5

18 生徒 施設や設備について満足している  
 14 保護者 施設や設備について満足している  
 16 教職員 生徒は本校の施設や設備について満足している

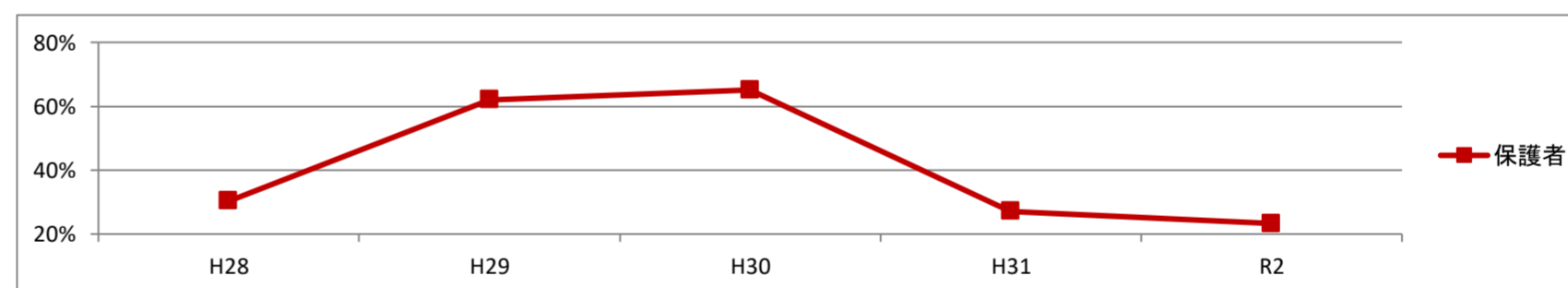
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	40.3%	54.7%	52.3%	46.6%	50.4%
保護者	52.7%	55.1%	55.6%	55.1%	53.7%
教職員	42.0%	35.7%	38.7%	40.3%	33.3%



項目6

1 生徒  
 10 保護者 この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある  
 1 教職員

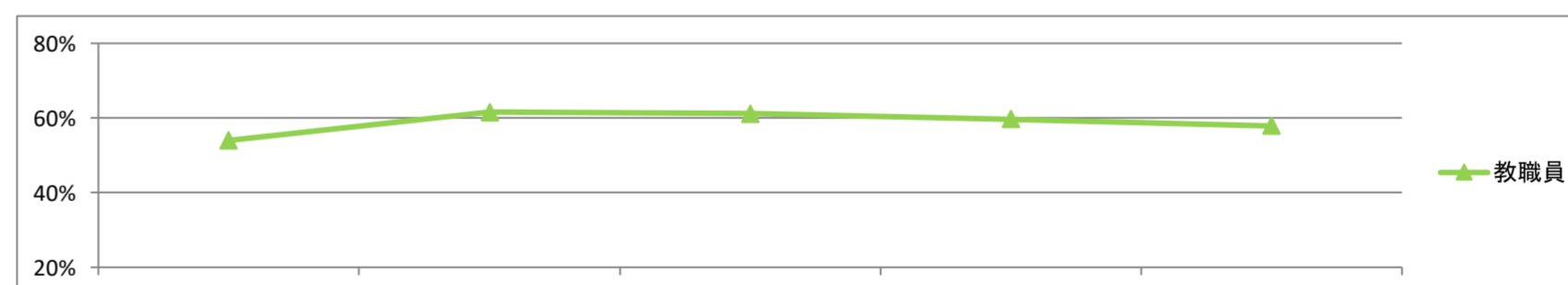
年度	H28	H29	H30	H31	R2
保護者	30.3%	62.0%	65.1%	27.1%	23.3%



項目7

1 生徒  
 1 保護者  
 19 教職員 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の評価に生かしている

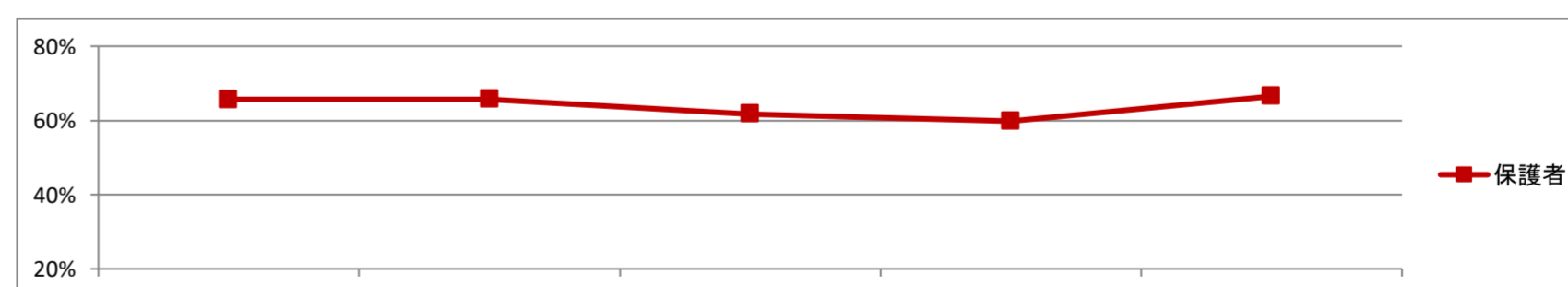
年度	H28	H29	H30	H31	R2
教職員	54.0%	61.6%	61.2%	59.7%	57.9%



項目8

1 生徒  
 8 保護者 先生は子どもの評価を適切・公平に行っている  
 1 教職員

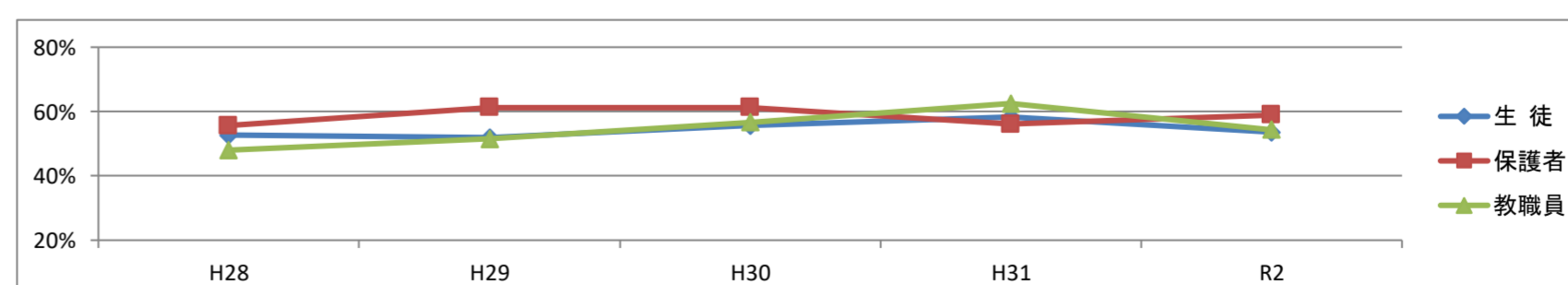
年度	H28	H29	H30	H31	R2
保護者	65.7%	65.7%	61.7%	59.8%	66.5%



項目9

3 生徒 選択授業は自分の興味や関心、進路希望にあっている  
 4 保護者 選択授業は子どもの興味や関心、進路希望にあっている  
 3 教職員 選択科目の授業は、生徒の興味、関心、進路などにあっている

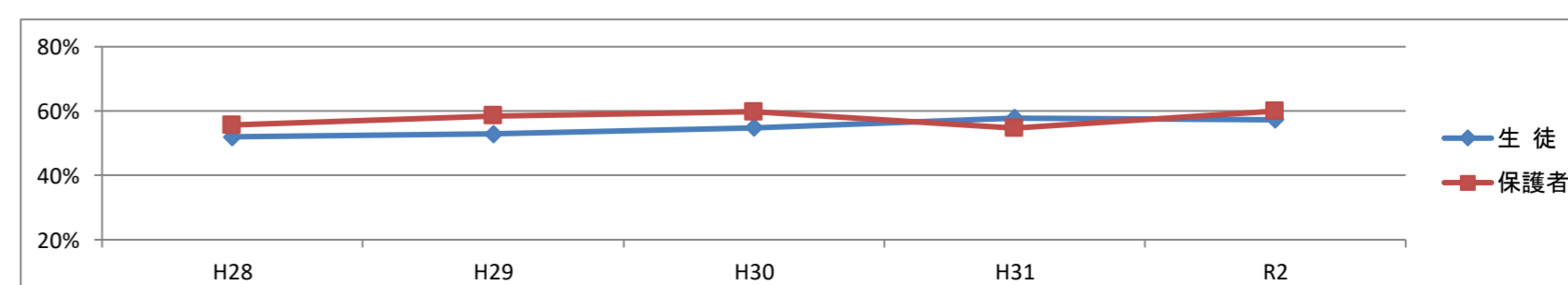
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	52.7%	51.9%	55.6%	58.3%	53.5%
保護者	55.7%	61.2%	61.2%	56.1%	58.9%
教職員	48.0%	51.5%	56.7%	62.5%	54.4%



項目10

6 生徒 系列の説明や選択科目についてのガイダンスがわかりやすい  
 3 保護者 系列の説明や選択科目についてのガイダンスを理解している  
 1 教職員

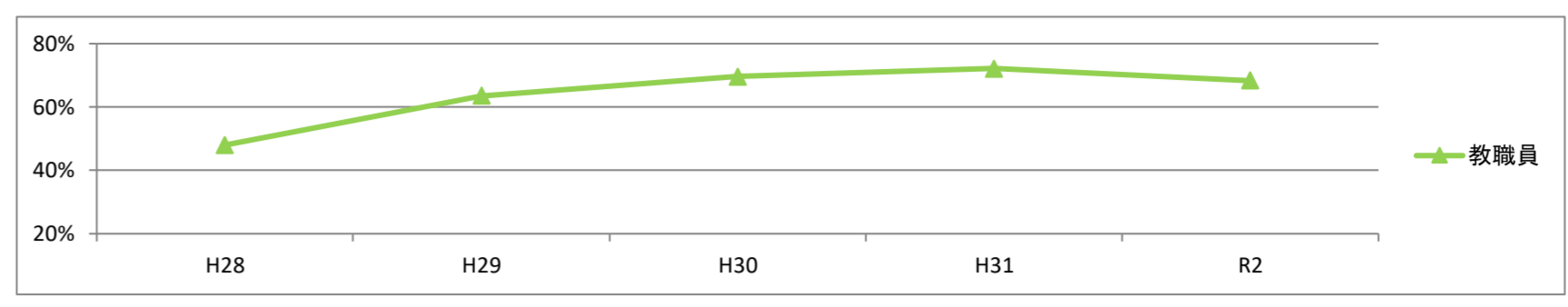
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	52.0%	52.9%	54.8%	57.8%	57.4%
保護者	55.7%	58.5%	59.7%	54.7%	60.0%
教職員					



項目11

1 生徒  
1 保護者  
17 教職員 進路情報の提供が適切に行われている

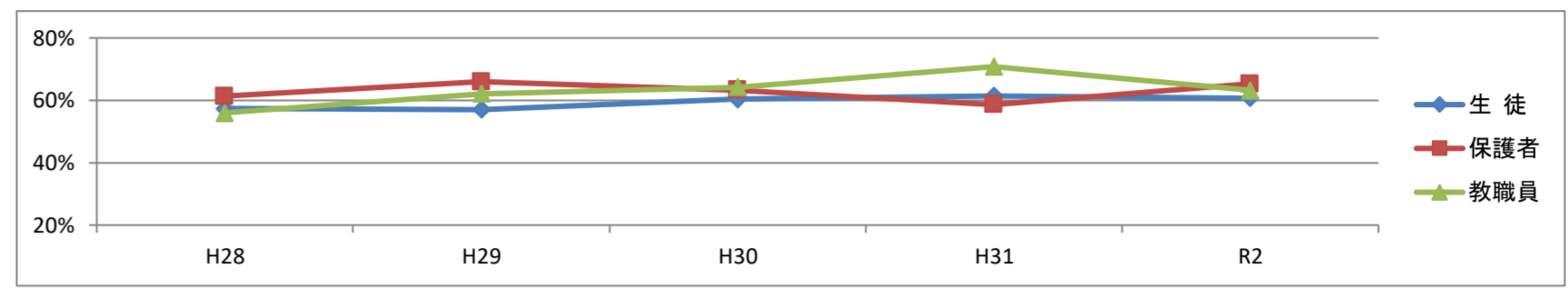
年度	H28	H29	H30	H31	R2
教職員	48.0%	63.5%	69.6%	72.2%	68.4%



項目12

4 生徒 将来の進路や生き方について考える機会がある  
5 保護者 学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている  
4 教職員 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている

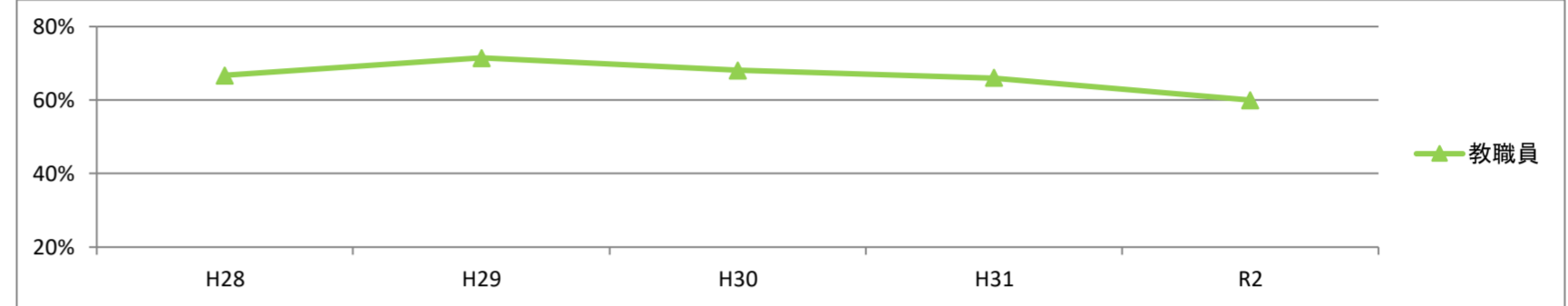
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	57.3%	57.0%	60.4%	61.4%	60.7%
保護者	61.3%	66.0%	63.3%	58.6%	65.3%
教職員	56.0%	62.1%	64.2%	70.8%	63.2%



項目13

1 生徒  
1 保護者  
18 教職員 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている

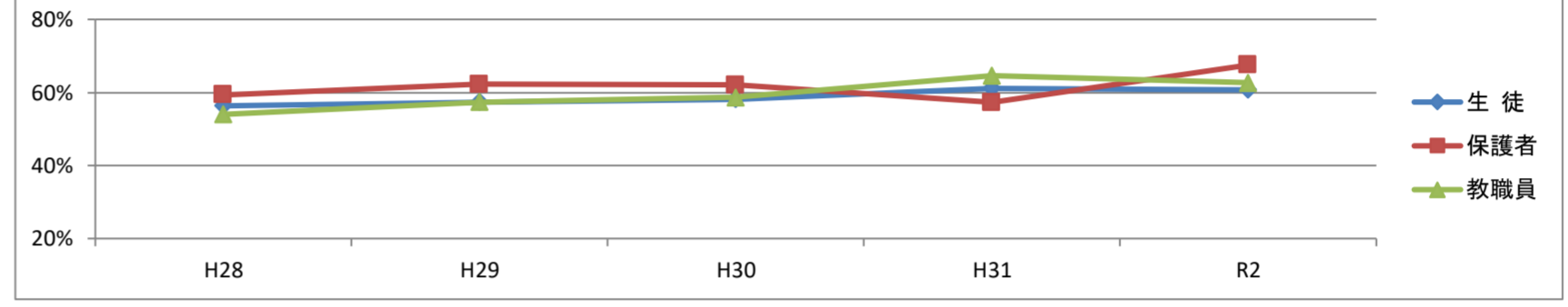
年度	H28	H29	H30	H31	R2
教職員	66.7%	71.5%	68.1%	66.0%	60.0%



項目14

5 生徒 命の大切さや社会のルールについて考える機会がある  
12 保護者 学校は子どもに生命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている  
5 教職員 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくらせている

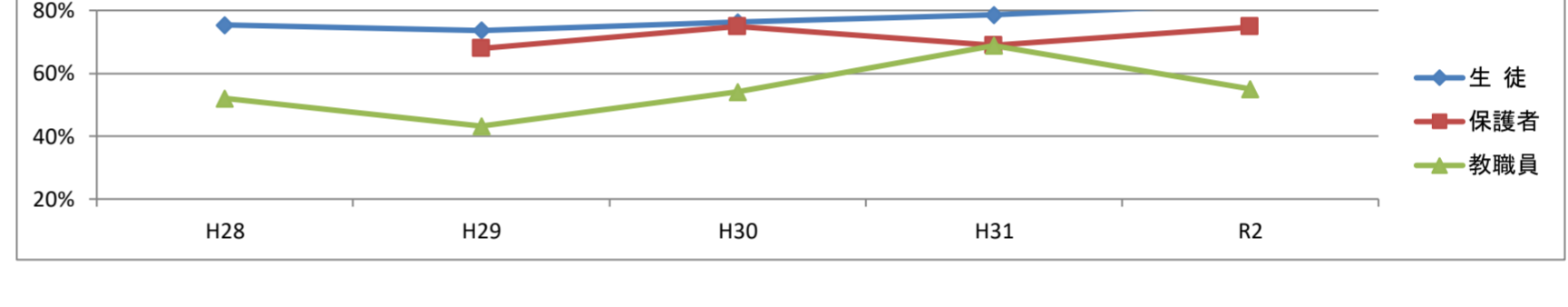
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	56.3%	57.4%	58.2%	61.1%	60.7%
保護者	59.3%	62.2%	62.0%	57.3%	67.5%
教職員	54.0%	57.4%	58.7%	64.6%	62.6%



項目15

7 生徒 学校の校則を守っている  
18 保護者 子どもは学校の規則を守っている  
6 教職員 生徒は本校の規則をよく守っている

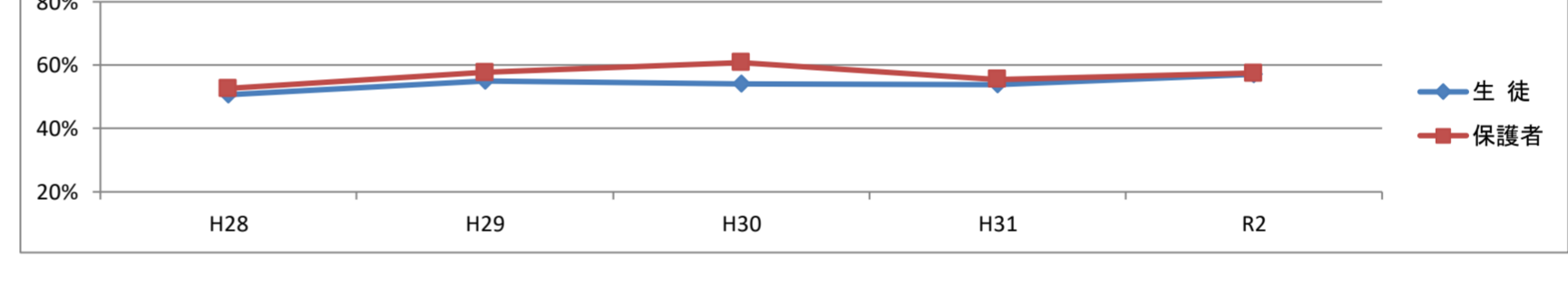
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	75.3%	73.6%	76.2%	78.5%	82.2%
保護者	67.9%	67.9%	74.9%	68.8%	74.7%
教職員	52.0%	43.2%	54.1%	68.8%	55.0%



項目16

8 生徒 学校生活についての先生の指導には納得できる  
7 保護者 学校の生徒指導の方針に共感できる  
1 教職員

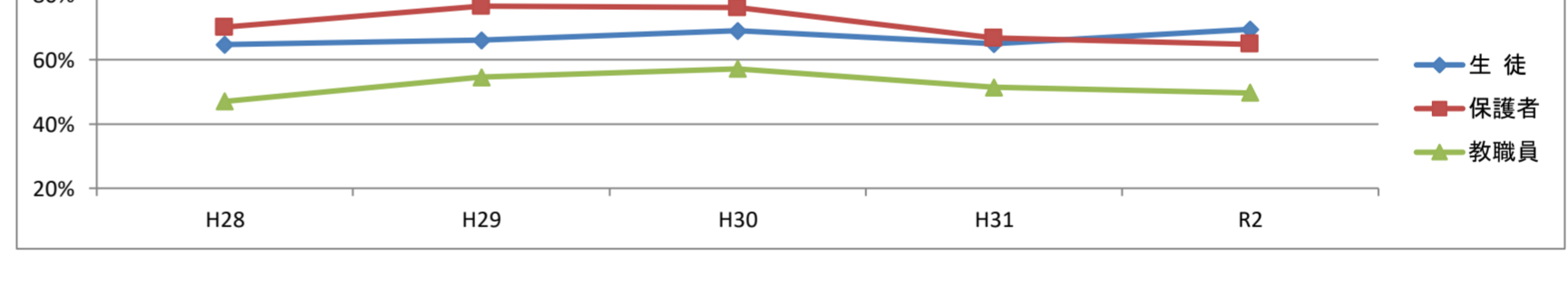
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	50.7%	55.1%	54.1%	53.9%	57.1%
保護者	52.7%	57.7%	60.8%	55.5%	57.5%
教職員					



項目17

15 生徒 いわゆる「いじめ」は見られない  
13 保護者 子どもが学校でいじめられているのではないかと感じることはない  
13 教職員 生徒の間には「いじめ」は見られない

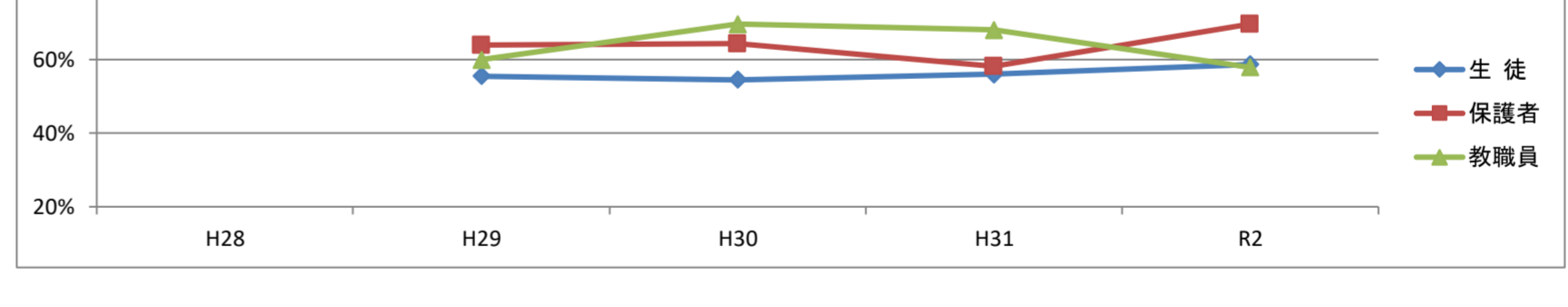
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	64.7%	66.0%	68.9%	64.9%	69.4%
保護者	70.0%	76.6%	76.1%	66.7%	64.7%
教職員	47.0%	54.5%	57.1%	51.4%	49.7%



項目18

19 生徒 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。  
9 保護者 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。  
20 教職員 いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。

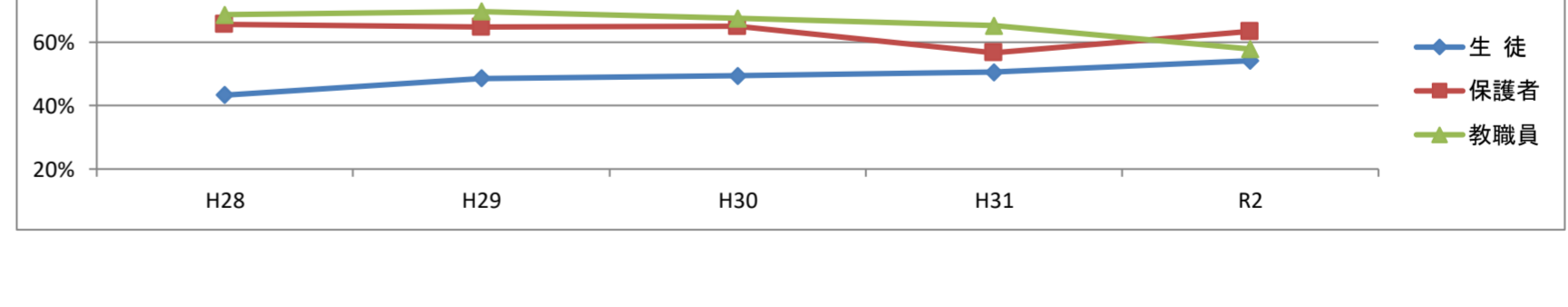
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒		55.5%	54.5%	56.0%	58.7%
保護者		63.9%	64.3%	58.2%	69.7%
教職員		60.0%	69.7%	68.1%	57.9%



項目19

9 生徒 文化祭、体育祭等の学校行事は楽しく行えるよう工夫されている  
9 保護者 文化祭、体育祭等の学校行事は楽しそうである  
7 教職員 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている

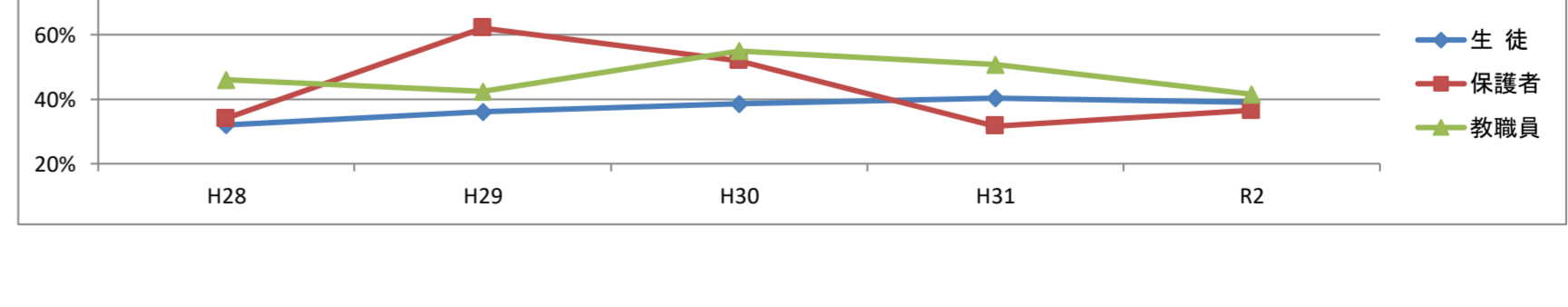
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	43.3%	48.6%	49.4%	50.6%	54.2%
保護者	65.7%	64.8%	65.0%	56.7%	63.4%
教職員	68.7%	69.7%	67.6%	65.3%	57.9%



項目20

11 生徒 学校は部活動に力を入れている  
11 保護者 部活動は活発に行われている  
9 教職員 生徒の自主活動(生徒会や部活動)に力を入れている

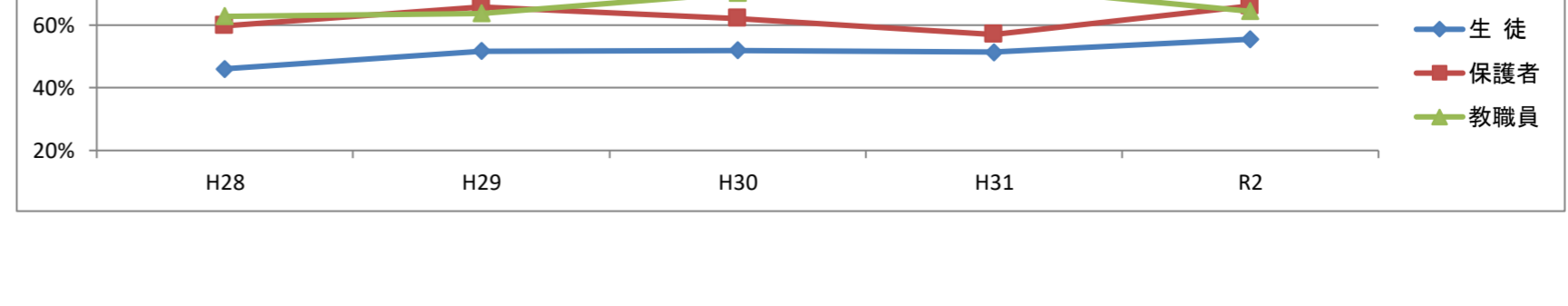
年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	32.0%	36.0%	38.5%	40.3%	39.0%
保護者	34.0%	62.0%	51.9%	31.6%	36.5%
教職員	46.0%	42.4%	54.9%	50.7%	41.5%



項目21

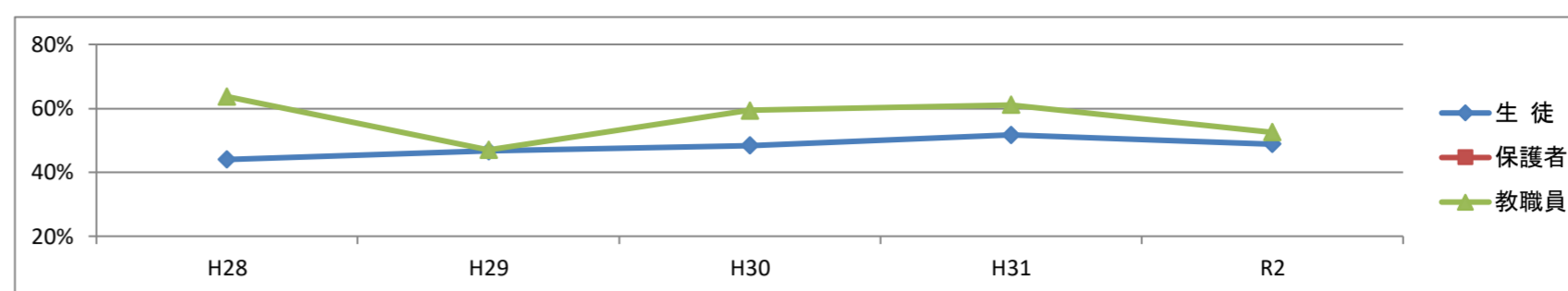
12 生徒 学校は生徒の健康状態に気を配っている  
15 保護者 学校は子どもの健康状態に気を配って指導している  
10 教職員 本校では生徒の健康状態に気を配って指導している

年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	46.0%	51.6%	51.9%	51.3%	55.4%
保護者	59.7%	65.6%	62.0%	56.9%	66.0%
教職員	62.7%	63.6%	70.1%	72.2%	64.3%



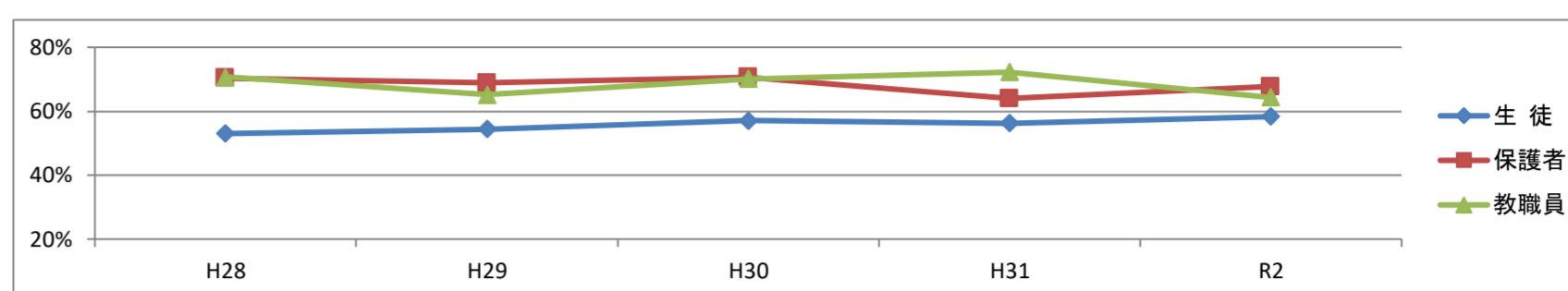
項目22 10 生徒 学校はボランティア活動や体験活動等を通じて地域とかかわる機会がある  
 1 保護者  
 8 教職員 体験活動やボランティア活動を通じて地域と関わる機会をつくっている

年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	44.0%	46.6%	48.4%	51.7%	48.8%
保護者					
教職員	63.7%	47.0%	59.4%	61.1%	52.6%



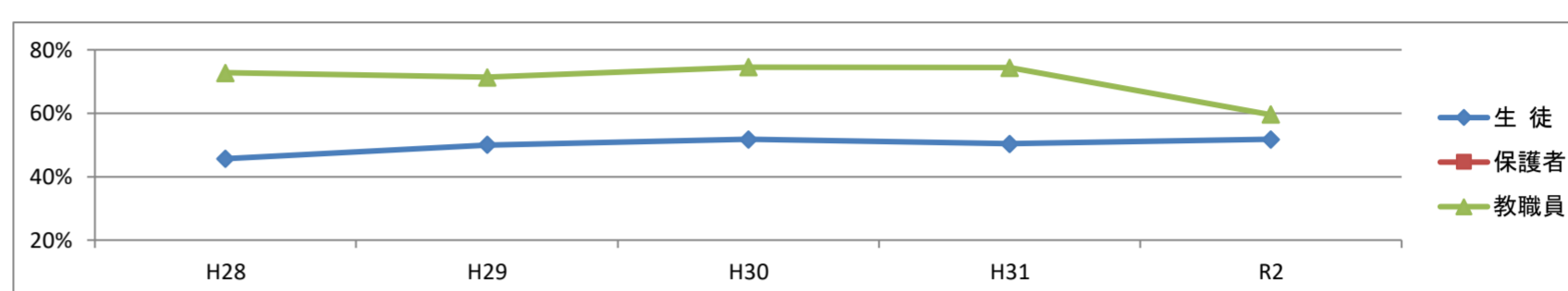
項目23 13 生徒 先生は、悩みや相談に親身になって対応してくれる  
 6 保護者 先生は、悩みや相談に親身になって対応してくれている  
 11 教職員 この学校ではカウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている

年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	53.0%	54.4%	57.0%	56.2%	58.3%
保護者	70.3%	68.9%	70.6%	64.0%	67.7%
教職員	70.7%	65.2%	70.1%	72.2%	64.3%



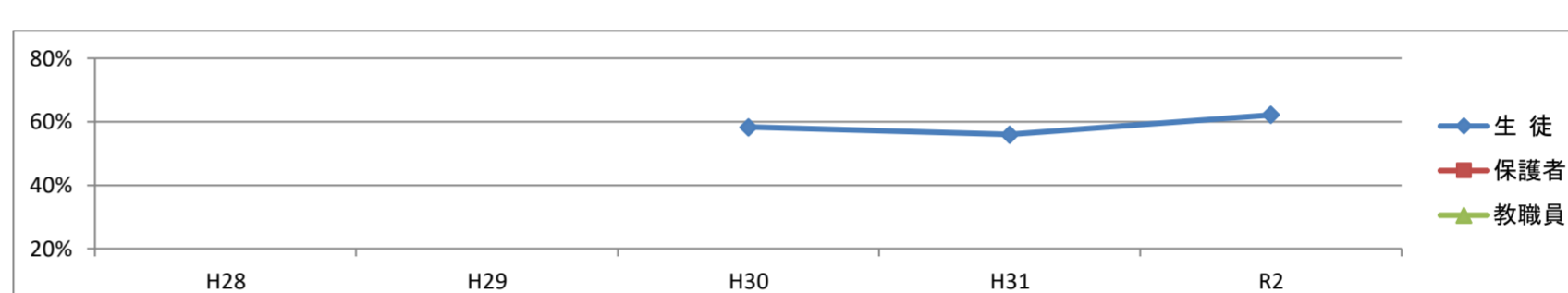
項目24 14 生徒 担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる  
 1 保護者  
 12 教職員 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる

年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒	45.7%	50.0%	51.8%	50.4%	51.8%
保護者					
教職員	72.7%	71.3%	74.5%	74.3%	59.5%



項目25 20 生徒 エンパワメントスクールに来てよかった。  
 1 保護者  
 1 教職員

年度	H28	H29	H30	H31	R2
生徒			58.3%	56.0%	62.1%
保護者					
教職員					



## 2. 令和2年度 学校教育自己診断 分析及び考察

項目1. について  
 「学校に行くことが楽しいか」について、微増ではあるが上昇傾向がみられる。特に【保護者】での上昇が顕著である。家庭で生徒・保護者間で学校生活が話題に上がっていることが伺える結果である。

項目4. について  
 「学校での非常時の行動について」では、コロナ感染症拡大防止に関する情報提供を生徒および家庭向けに幾度となく行ったことによると思われる。

項目5. について  
 開校57年を経て、何度も改修を行ってきた。今年度においても「ギガスクール構想」に対応するネットワーク工事が行われた。しかし一方で雨漏りなど施設の老朽化も目立っている。

項目6. について  
 「授業参観や学校行事への参加」については、コロナ禍による行事の中止や縮小など保護者の方に来校いただける機会を設けられなかった。

項目15. について  
 「学校の校則を守っているか」については、【生徒】【保護者】のポイントに対して【教職員】のポイントが低い。【生徒】【保護者】目線での校則の見直しを検討する必要がある。

項目17. 18. について  
 「いじめ」に関する項目である。いじめは絶対に許されないことを、色々な場面で生徒に説明してきた。また、何かあれば身近な大人に話をしようとも話をしている。

項目19. について  
 コロナ禍で行事が縮小している中、文化祭を何ができるかを模索し短時間であったが開催できた。  
 また、「エンパワメントスクール完成記念」と題して、文科省、大阪府の指針に従い劇団四季による「リトルマーメイド」観劇を実施した。

項目25. について  
 「エンパワメントスクールに来てよかったか」については上昇傾向にある。コロナ禍の中ではあるが生徒の自己肯定感などを満足していけるよう行事や内規の見直しを検討していく必要がある。